JP009　濤沸湖（とうふつこ）

北海道：網走市、小清水町

位置	N 43°　56′　E　144°　24′
面積	2,200ha

環境構成【潟湖】

写真：川崎康弘

濤沸湖は北海道東部、網走市と小清水町にまたがる位置にあり、細長い砂丘（小清水原生花園）によってオホーツク海と隔てられてできた海跡湖である。面積は約 900ha、岸辺の総延長は約 27.3km で、水深は平均 1.1m、最深部でも 2.5m と、比較的浅い湖である。湖には数本の河川が流入し、湖周辺には総面積約 118ha の湿原が広がっている。流入河川周辺にはハンノキ林が分布し、湿原は主にスゲ群落とヨシ群落で占められ、これにガマやフトイが加わる。汽水部にはアッケシソウやオオシバナなどが生育する塩性湿地も分布する。湿原では古くから牛馬が放牧され、家畜の選択的採食によって、ヒオウギアヤメやハマナス、センダイハギなどが優先する群落がパッチ状に成立している。

選定理由

A1	タンチョウ
A3	タンチョウ
A4i	キアシシギ

保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

＜保護指定の内容＞

国指定鳥獣保護区（濤沸湖）、国定公園（網走国定公園）、自然環境保全地域

＜その他＞

ラムサール条約湿地

保全への脅威

・観光、レクリエーション。ここ 2 年で、カヌー利用が個人のレクリエーションで 3 件ほど確認された。

・外来植物の影響による在来植物の衰退。一部地域はオオハンゴンソウに置き換わっている。アメリカオニアザミが増加。
・小清水原生花園は牧草(ナガハグサなど）が繁茂し在来植物が衰退したため、火入れを行っている。
・海と河川から土砂が流入し、湖の浅化が進む。アッケシソウ群落、干潟の一部衰退。
・以前は観光のための餌付けがあったが、ほぼ行われなくなった。（対応として餌付け禁止・鳥インフルエンザの注意看板の設置、餌付け行為者に注意を行っている。）

鳥類の個体数、生息環境の現状

・IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
タンチョウは増加。その他の種は年により変動を感じるが、詳細な調査を行っていない。
・IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有
＜調査データの入手方法＞
モニタリングサイト 1000 の調査が行われている。
濤沸湖水鳥・湿地センターでシギ・チドリは不定期にカウントを行い、タンチョウについては目視情報を記録している。
・IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
変化はない
・IBA 選定基準種の生息環境：
普通（70～90%が最適の状態）
・IBA エリアの保全管理計画の有無：有

保全活動

・環境管理：実施者（環境省（国指定濤沸湖鳥獣保護地区）、オホーツク総合振興局（網走国定公園)、林野庁（国有林)、網走市（濤沸湖水鳥・湿地センター運営)、小清水町（小清水原生花園インフォメーションセンター運営）
内容：
・平成１７年　濤沸湖及び周辺域の環境保全推進協議会を組織し、毎年清掃活動を実施。事務局は網走市。
・平成２３年　網走市と小清水町において「濤沸湖環境保全ビジョン」を策定。
・網走国定公園小清水原生花園風景回復対策協議会を組織しており、2008 年度版小清水原生花園管理マニュアルを作成。事務局はオホーツク総合振興局。毎年春に野焼きを実施。
・外来種のコントロール：実施者（　濤沸湖水鳥・湿地センター　）

内容：アメリカオニアザミ、オオハンゴンソウ、オオアワダチソウの駆除を
濤沸湖水鳥・湿地センターのボランティア組織である濤沸湖ファンクラブと
実施。２０１５年度は行事としてオオハンゴンソウ駆除を実施。

・環境教育活動：実施者（濤沸湖水鳥・湿地センター、日本野鳥の会オホーツク支部）
内容：濤沸湖水鳥・湿地センターにおいては植物、野鳥観察会等を実施。また、
総合学習対応などを行っている。
日本野鳥の会においては定期的に探鳥会を実施している。

・保全のための人材育成活動：実施者（　濤沸湖水鳥・湿地センター　）
内容：濤沸湖水鳥・湿地センターのボランティア組織である濤沸湖ファンクラブ
会員はセンター事業の協力（ハクチョウカウント調査等）や講習会に参加。

・利用ルールの策定：実施者（濤沸湖エコツーリズム推進協議会）
内容：濤沸湖エコツーリズム推進協議会（網走市、小清水町事務局）において策
定した「濤沸湖　保全と利用のためのルール」の運用管理及び普及啓発。

・モニタリング調査：実施者（濤沸湖水鳥・湿地センター　）
内容：ハクチョウ類、ワシ類カウント調査、環境省の渡り状況調査等を実施。
（ハクチョウ類カウント調査は野鳥の会オホーツク支部、オホーツク総合
振興局等が協力）。
NPO や個人がモニタリングサイト 1000（植物相、鳥類）の調査、標識調査を実施

・経済活動を通じた保全（エコツーリズム等）：
内容：近隣のユースホステル等宿泊施設が、宿泊者向けにガイドを行っている。

IBA サイトの保全に関係する地域のグループ

・濤沸湖ファンクラブ
・日本野鳥の会オホーツク支部
・小清水原生花園花ガイド
・NPO グラウンドワークこしみず

見られる鳥

濤沸湖周辺では約 250 種の野鳥が確認されている。留鳥は比較的少なく、渡りの中継地として利用する種が多い。水鳥のほか、草原性の鳥や猛禽類も多く見られる。近年、タンチョウが継続して繁殖確認されており、越冬も確認された。

留鳥	**マガモ、カワアイサ、オジロワシ、タンチョウ、コアカゲラ、ハシブトガラ**
夏鳥	**カイツブリ、アオサギ、カルガモ、オカヨシガモ、チュウヒ、チゴハヤブサ、クイナ、コチドリ、オオジシギ、アオバト、カワセミ、アリスイ、ショウドウツバメ、ツバメ、ツメナガセキレイ、ノゴマ、ノビタキ、エゾセンニュウ、シマセンニュウ、マキノセンニュウ、コヨシキリ、オオヨシキリ、メジロ、ホオアカ、シ**

	マアオジ、アオジ、オオジュリン、ベニマシコ
冬鳥	オオハクチョウ、オナガガモ、ホオジロガモ、オオワシ、ケアシノスリ、コチョウゲンボウ、コミミズク、オオモズ、ツグミ、ツメナガホオジロ、ユキホオジロ、ベニヒワ
旅鳥	ヒシクイ（亜種ヒシクイ）、ヒドリガモ、ミコアイサ、ミサゴ、ハイイロチュウヒ、オオバン、ハジロコチドリ、メダイチドリ、ムナグロ、ダイゼン、トウネン、ヒバリシギ、ハマシギ、ヘラシギ、エリマキシギ、アオアシシギ、タカブシギ、キアシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、タシギ、アジサシ、タヒバリ
迷鳥	ヘラサギ、クロヅル、ナベヅル、ソリハシセイタカシギ、ホシムクドリ

関連団体・自治体・施設等

・日本野鳥の会オホーツク支部
・濤沸湖水鳥・湿地センター

N
網走駅
Masuura Sta.
藻琴駅
Mokoto Sta.
藻琴湖
Lake Mokoto-ko
244
北浜駅
Kitahama Sta.
オホーツクCC
Okhotsk CC
オホーツク海
Okhotsk
藻琴川
Mokoto-gawa River
原生花園駅
Gensei Kaen Sta.
清流湖
Lake Tofutsu-ko
Dosanko Hanazono Farm
浜小清水駅
Hamakoshimizu Sta.
実豊
Mitoyo
山里
網走市
Abashiri-Shi
東11線
HIGASHI 11-SEN
東15線
HIGASHI 15-SEN
浦士別
Urashibetsu
北斗
Hokuto
止別川
Yambetsu-gawa
美和牧場
Miwa Farm
中里
Nakasato
栄
Sakae
神浦
Kamiura
391
334
東藻琴明生
Higashimokotomeisei
小清水町
Koshimizu-Cho
東20線
HIGASHI 20-SEN
21線
21-SEN
23線
23-SEN
17線
17-SEN
浦士別川
Urashibetsu-gawa River
末広牧場
Suehiro Farm
上徳
Kamitoku
上徳牧場
Kamitoku Farm
0 1.5 3 6 キロメートル
藻琴川
Mokoto-gawa River
ひがしもこと芝桜公園
Higashimokoto Shibazakura Park
Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community